

科目名	担当教員名	学期
国際課税概論 International Taxation	加藤 俊行	前期
目的	わが国の国際課税制度及び問題点を理解し、実務において応用できるようにする。	
概要	法人税、所得税の基本的な構造を把握した上で、国際的活動にかかわる日本の税制度を理解し、それを応用した租税回避事例の検討を行う。	
到達目標	応用力のある国際課税制度への理解の獲得	
成績評価の 基準と方法	出席、授業における議論への参加（20点）、2回の理解度チェック（80点）で評価し、100点満点として60点未満を不合格とする。	
履修条件	特になし。	
授業計画		
第1週 ～ 第4週	国際課税基礎、租税法基礎、所得税の基礎、法人税の基礎	
第5週 ～ 第7週	国内源泉所得、恒久的施設、租税条約、源泉所得税	
第8週	理解度チェック	
第9週 ～ 第12週	外国税額控除、タックスヘイブン対策税制 移転価格税制、過少資本税制、過大支払利子税制、国際相続税	
第13週 ～ 第14週	事例研究	
第15週	理解度チェック	
テキスト 参考書等	【テキスト】 講義前に配付するレジュメ 【参考書】 ・『租税法』金子宏著（弘文堂）	
その他 特記事項		